



先月の山行

☆ 12月13日 (日) 火燈山 山行報告参照

1月の予定

☆ 2日 (土) 荒島岳 山行報告参照

★ 14日 (木) 例会

☆ 17日 (日) 日野山

CL 宮本重信 7時

31日 (日) 西方ヶ岳サザエヶ岳

2月の予定

★ 11 (祝) 例会

☆ 14日 (日)

CL

☆ 24日 (日)

CL

冬季は積雪を考慮し決定します。

遭難対策基金 1000 円

年会費 6000 円会計 (伴藤) まで

行ってみたい山募集中♡

山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。
(都合により例会に出席できないが、山行込みをしたい場合は、例会当日 20時半頃、宮本の携帯 090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

山行報告

火燈山古道から富士写ヶ岳へ

2015年12月13日 晴れ

CL :

報告



7時に県雪対策研究所に集まり、8時前には、旧大内村の白山神社の境内に着いた。すぐ横に「火燈古道 大内峠→」の標識があり、峠坂を登っていくと、すぐに大内峠に着いた。峠には立派な石標とお地藏さんを祀った小さな祠があった。ここが県境尾根である。大内峠を調べてみると、昔、越前竹田と加賀山中に通じる道で大内には番所があった、なんでも加賀の一向一揆が越前竹田側に来ないようにこの番所で取り締まっていたとのこと、その後、加賀大聖寺藩になり、山の木引きを業とし、材木や炭焼きの炭を越前や加賀に売って生活して、その後は山中漆器の材料となる木地をおもに生産し山中漆器の材料を作っていたという。

取り付きには、「火燈古道 (大内峠)、火燈山へ 2.6 km 富士写ヶ岳へ 6.1 km」というプレートがあった。尾根道に取り付くと右手に、迎ってきた旧峠道が見える。自然林の中を行くよく整備されている。まもなく送電線の鉄塔を通過した。樹木が伐採してあるので左右の眺望があり、左手には前尾根越しに富士写ヶ岳の上部が見える。細い尾根ではあるが、よく踏み込まれているので急斜面があるものの、補助ロープが設置してあるので、苦勞することもない。どんどん高度を上げていくと小倉谷山が見える。

一旦下って鞍部に出たが、ブナ林があった。よく見ると「熊の平」と書かれたプレートが架けられていた。ブナ林の中を登り返して行くと、すぐに展望の開けた火燈山の山頂に着いた。

火燈山は、その名の由来は、丸岡町豊原寺の山伏たちが修行としてこの山に登り、護摩を焚いたことからきているとか、あるいは信長に追われた一向宗徒がここで烽火を挙げたことからきているそうだ。頂上から360度見渡すことができた。幸い晴天であるため遠く冠雪の白山、経ヶ岳がはっきり見えた。眼下を見ると坂井平野、臨界工業地帯、日本海、それに波松にある風力発電が見渡された。

ここで写真撮影、自動シャッターで写真を撮るものの、シャッターが下りる寸前にカメラがひっくり返り、大空を写してしまった、緊張した瞬間、どっと笑いを誘った、2度目はそれなりに綺麗に撮れたとのこと。

小倉谷山に向かう、一旦下ってからは再びブナ林の中の登り返しとなる。ブナを見ながら登っていくと、三等三角点のある小倉谷山(901.6m)に到着した。この山頂も眺望がよく、富士写ヶ岳がより大きく見える。三等三角点の点名が「伏拝」と書かれている、ここから白山を遙拝したであろうことが想像される。そういえば、法恩寺山と経ヶ岳の間にあるが白山伏拝岳と呼ばれていたことを思い出した。

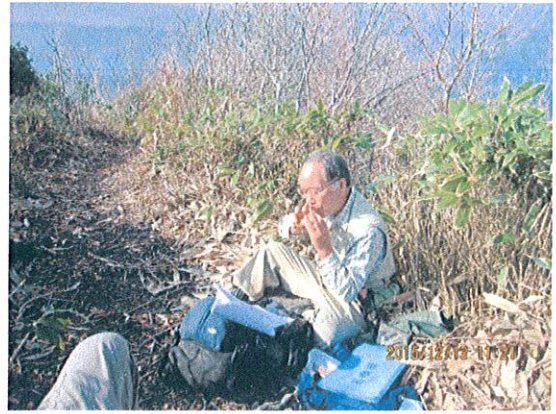
ここで、昼食をとる、今日のメニューは豚肉、鶏肉、野菜の煮込みである、それに各々持ち込んだ茶菓子、果物、コーヒー、紅茶を飲んで体力を整えた。

小倉谷山から富士写ヶ岳(941.9m)までの縦走路(不惑新道)は約1時間30分コースである。補助ロープがある急坂を急降下する。ここで、今日始めて水筒を胸に2本付けてトレッキングしている若者に出会う、前回来た時にはトレッキングしている女性に出会った、名の知れたコースと思われる。運よく狂い咲きしたシャクナギの花を2カ所で見ることができた、12月とは思われない暖かきで狂い咲きしたのであろう。そういえば、昨日、越前海岸のスイセンが満開していた。



鞍部から落葉したブナ林が広がっていてブナ林の眺めが最高である、落ち葉を踏みかためながら歩み続ける、その音の爽やかさに気持ちが和む。

「ブナの小平」という標識にある辺りからしばらくの



間は傾斜が緩やかであった。しかし、やがて急登となり、長い補助ロープが張っており、結構しんどい登りであった。ほどなくして富士写ヶ岳の山頂に着いた。

富士写ヶ岳登山は2年ぶりである。下りは大内コース、このコースも尾根道の下りとなっていて、最初の辺りは眺望もよく、今日歩いてきた火燈山から小倉谷山、そして富士写ヶ岳に続く尾根がよく見えている。所々にユキツバキが鮮やかに咲いていた。この登山道が意外と曲者であった。堀状の登山道の岩がぬめっていて滑りやすい。そして土も粘土質とくる。滑りやすい環境が整っている。何度も転びながら1時間ほどで大内登山口に下り、未舗装の林道を右手に行くと舗装道に出た。約6時間の山行であった、久しぶりに急な登り下りを体験した、晴天でしかも落ち葉に助けられ登山服を汚すことはなかった。

たけくらべ温泉で汗を流し、71歳にして難儀な山行をやり返した充実感で心地よい。

翌日、職場から火燈山から富士写ヶ岳を眺めると、その間の距離は長く見え、よくぞ歩いたものだと我が身の体力を褒めたい。これも、あしハイキング山行のお陰だと感謝している。

ところで、昼食に出した『大根のビール漬け』が好評であったのでレシピを転記する。

大根のビール漬け

| | |
|-----------------|----------|
| 大根 | 5kg (4本) |
| ざらめ | 1kg |
| 酢 | 200ml |
| 塩 | 200g |
| 粉からし (鬼からしがお勧め) | 120g |
| ビール | 500ml |

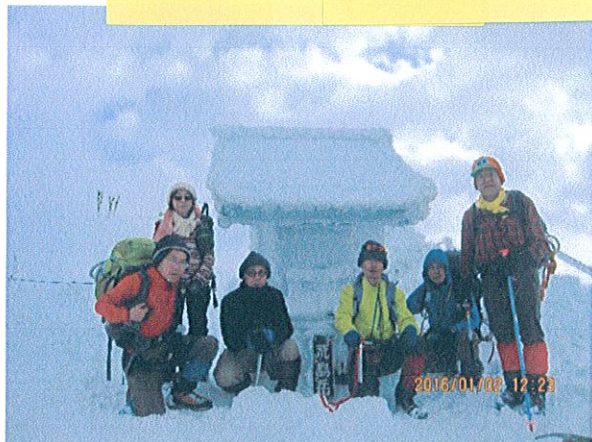
1. 大き目の密閉容器に漬け汁の材料をすべて入れて簡単に混ぜる。
2. 大根は皮付きのままよく洗い、容器に入るように2~3等分して漬け汁に入れる。
3. 1日に2回密閉したまま容器を振る。(蓋を開けると発酵が遅くなるので開けないこと)
4. 1週間で出来上がり!

発酵が進まないように漬汁は捨てる。漬汁にキュウリを入れて再利用もできるよ。ジッパー付き保存袋で3週間は保存できる。

荒島岳 1523m

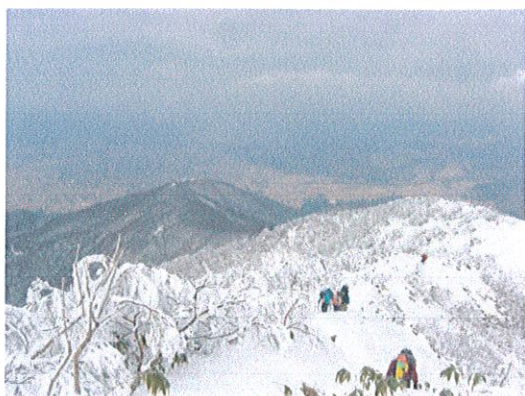
日時 2016年1月2日

参加者
報告者



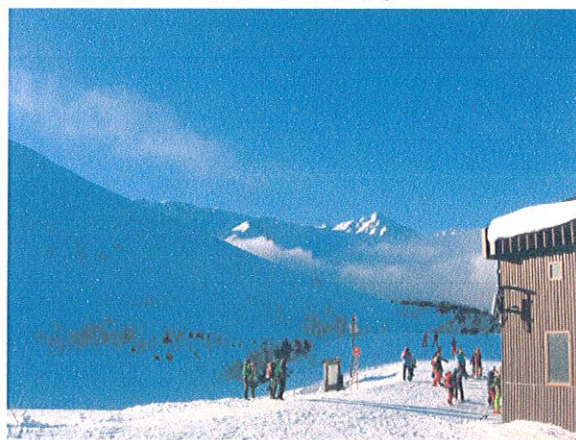
新年1回目の山行、福井県民の誇り100名山。今冬は暖冬で市内に積雪は無い全国的にも雪は少ないみたいだ。7時半福井発、勝原スキー場跡から登山開始。道の両脇に桜が植林してあり春になると開花が楽しみだがその桜を見る事が出来るのは登山者だけだろうか・・・リフト終点場で休憩、本格的な登山道になる。雪が少なく輪カンジキ不要。県外からの登山者に多くすれ違った。シャクナゲ平で中出コースと合流ここから山頂までは危険地帯で過去死亡事故もある。もちがかべ、前荒島を通過し山の稜線に出る。独立峰で四方さえぎるものがなく見晴らしはいいが少し風が強い、たまに樹氷のついたブナ林からの雪の直撃を背中に受け冷たい。12時山頂着(上り3時間20分)視界も悪く危険性を考慮して早々に下る事に、シャクナゲ平にて昼食にする。下山後、美山のみらくる亭で汗を流して17時に日が暮れた福井に着きました。

以前3回山頂にトライしたが悪天候と積雪の為にシャクナゲ平で下山したので今回皆様に背中を押されて冬の荒島岳に登頂出来ました。一人ではお正月、家で駅伝でも見ていただけかな・・・振り返ると危険な所もたくさんありました。アイゼン、ピッケルも必要です。安心安全をモットーにと思った山行でもあった。



「編集後記」

新年あけましておめでとうございます。
雪が降らない正月を過ごして冷え性の方には快適だったと思います。ボクも寒さに弱いです^^;・・・さすがに白馬八方尾根には雪がありましたヨ。本年も宜しくお願い致します。



白馬槍ヶ岳

sendai@hokkaido.jp に送信ください。

畑中義和